

1 単元名 2年生とさくら集会をしよう

2 指導観

こんな子どもだから

本学級には、1年生 人、2年生 人、3年生 人の計 人の子どもたちが在籍している。課題への取組については、友だちを模倣しながら取り組む子どもから自分なりに見通しをもって取り組む子どもまで様々である。本学級での生活が中心で、個に応じた学習を基本に行っている。音楽や体育等の教科学習、7月より給食も交流学級で行い、同学年の友だちとのかかわりが見られるようになってきた。(個別の実態は、別紙を参照)

○ 本学級の子どもたちは、全体的に明るく活発である。学習では自発的に手を挙げて発表することが増えてきた。興味や関心の対象は子どもによって様々で、興味のある課題に対して、より積極的に取り組む様子が見られ、学習意欲も高い。(関心・意欲)

○ 本学級の子どもたちは、「誕生会をしよう」「なかよし集会をしよう」等の生活単元学習に取り組み、集会活動の楽しさや自分の仕事をやり遂げたときの満足感を少しずつ体験してきている。1学期に行った「さくら集会をしよう」では、3年生の友だちともっと仲良くなるために自分たちで集会を計画し、準備や練習をみんなで協力して進めることの楽しさを体験してきている。その中で、一人一人が自分の仕事に責任をもって取り組む姿が見られるようになってきた。(かかわる力)

○ どの子どもも自分の思いや願いを自分なりに言葉で伝えることができるようになってきている。「朝の会」では「家の手伝い」「ご飯のメニュー」等をテーマに、毎日くり返し発表を行っている。発表するだけでなく、友だちの発表を聞いて、質問したり感想を伝えたりする経験も重ねてきている。質問や感想等、短い言葉でも自分なりに伝えようとしたり友だちの意見を取り入れて伝えようとしたりと、それぞれに成長が見られる。(知識・技能)

こんな教材で

本単元では、自分たちで計画を立てて仕事を分担し、友だちと協力して準備や練習を進め、2年生の友だちや教師と一緒に楽しむ「さくら集会」を実施する。この単元を設定することは、次の点で価値があると考えられる。

- ① 自分たちで集会を進めることを目標に、自分の課題を解決していくための、子どもたちの主体的な活動が期待できる。また、練習・リハーサル・1回目の集会本番・ふり返り・2回目の集会本番とくり返し活動に取り組むことができ、自分の力を少しずつ高めていくことができる。
- ② 「集会活動」では、仕事分担が複数考えられ、個に応じた課題を設定することができる。また、これまでに行った「なかよし集会」や「誕生会」、「3年生とのさくら集会」の集会活動の経験を生かすことができ、子どもたちが活動に見通しを持って取り組むことができる。
- ③ 2年生の友だちや教師と一緒に活動することで、自分やさくら学級のことをこれまで以上に知ってもらったり、友だちとのかかわりを深めたりすることができる。
- ④ 友だちと力を合わせて集会活動を行う中で、他者から喜ばれ、認められる経験をすることができる。

以上のように、子どもたちが主体的に課題意識を持って取り組むことを通して、一人一人が達成感を味わうことができ、この経験や高まった力をこれからの生活に生かすことが期待できる価値ある教材であると考えられる。

こんな方法で

【であう段階】

初めに、1学期に行った3年生との「さくら集会」をビデオ映像で想起させ、「またさくら集会をやってみたい」という気持ちを引き出していく。次に、2年生の担任からのビデオレターを視聴する場面を設定する。そして、2年生との集会活動を計画するという課題に出会わせ、学習のめあてをつくらせる。子どもたちがよく知っている教師から「さくら集会」を依頼されることは、子どもたちの気持ちにストレートに響き、自分たちでつくっていく「さくら集会」に対して意欲をもち続けることができると考える。

学習のめあて

みんなで「さくら集会」をつくって、2年生の友だちや先生となかよくなる。

学習を見通す活動では、具体的な活動や日程をイメージできる視覚的な教材として、イラストカードや単元のスケジュール表を提示していく。また、活動内容や仕事分担、自分のめあてを書きまとめることができる個別の学習ノートを用いる。このような手立てをとることで、子どもたちの思考を助け、一人一人が「さくら集会」のイメージを膨らませ、集会の開催に向けての自分のめあてを明らかにすることができると思える。

【つくる段階】

さくら集会に向けて実際にくり返し練習を行っていく際に、毎時間の活動の様子が分かる写真やビデオを撮り、自分や友だちの姿をふり返るようにする。そうすることで、子どもが次の目標をもってくり返し取り組むことができるようになると考える。また、さくら集会実施前に、プログラム通りに練習を行うことで、集会全体のイメージを持つことができるようになると考える。

【ふりかえる段階】

交流・評価する活動では、ビデオ映像や写真等の視覚的な教材を用いたふり返る場を設定し、ふり返る観点を明確にした話し合いを行う。そうすることで、子どもたちは自分の姿をふり返って、「よかったこと」や「もう少し頑張ること」を見つけていくことができると考える。

こんな子どもへ

○ 話し合いや視覚的な情報を手がかりに、学習全体を見通し、自分のめあてをもつことができる子ども

○ 「さくら集会」の計画・準備・実施に向けて、興味をもつことができる子ども
(関心・意欲)

○ 自分のめあてをもち、自分の仕事を率先して行うことができる子ども

○ 友だちと協力しながら、主体的に活動することができる子ども
(かかわる力)

○ 練習や集会をビデオ映像や写真等でふり返ったり、話し合いで友だちの発表を聞いたりして、自分のよかったことやもう少し頑張ることを見付けることができる子ども
(知識・技能)

3 指導計画 (16時間)

段階	配時	学習活動と内容	支援
で あ う	4	<p>1 3年生との「さくら集会」を思い出し、これからの学習のめあてをもつ。</p> <p>① (1) ビデオを見て3年生との「さくら集会」の活動内容や自分の仕事、楽しかったことや頑張ったことをふり返る。</p> <p><活動内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介 ・クラス紹介 ・ダンス ・歌 ・ゲーム 等 <p><仕事></p> <ul style="list-style-type: none"> ・司会者 ・はじめのことば ・ゲーム係 ・歌係 ・ダンス係 ・おわりのことば 等 <p>① (2) 2年生の担任からの「さくら集会」依頼のビデオレターを視聴し、学習のめあてをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>学習のめあて</p> <p>みんなで「さくら集会」をつくって、2年生の友だちや先生となかよくなるう。</p> </div> <p>2 「さくら集会」の活動内容の計画を立て、単元全体の見通しを持つ。</p> <p>① (1) 集会の活動内容(プログラム)を話し合っ</p>	<p>○ 1学期に3年生と行った「さくら集会」の様子を思い出すために、ビデオを視聴する。</p> <p>○ 「さくら集会」の活動内容や仕事等を思い出すために、活動内容と仕事と担当者名を続けて質問していく。また、板書では顔写真カードや名前カードを活用する。</p> <p>○ 2年生との集会活動をさくら学級のみならず計画・準備・実施することに対して、関心、意欲を引き出すために、2年生の担任からの集会依頼のビデオレターを準備する。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>学習を見通す活動</p> <p>一人一人が「さくら集会」をイメージして自分のめあてを明らかにするために、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ さくら集会の活動内容(ダンス・歌等)をイメージできるイラストカードや単元のスケジュール表を活用した話し合いを行う。 ○ 活動内容や仕事分担、自分のめあてを書きまとめる表現物づくりを行う。行やマス目タイプ、単語のなぞり書き等、個に応じて学習ノートを準備する。 </div> <p>○ 活動内容を決める際、子どもたちから意見が出にくいときや全て出し終えたときに、さらに考えを引き出していくために、教師の意図を組み入れた活動を提示する。</p> <p>○ 仕事分担については、一人一人のやる気や意欲を大切にしながらも、個別の実態に応じて教師が意図的に勧めるようにする。</p> <p>○ 自分の仕事やめあてを意識することができるように、活動内容や仕事分担、自分のめあて等を書く欄を設けた学習ノートを準備する。</p> <p>○ 単元全体の流れに見通しがもてるように、単元のスケジュール表をカレンダー式で作る。作る際、子どもたちと日程や活動内容を確認しながら、活動内容を示したイラストカードをカレンダーの枠に貼っていくようにする。また、毎時間スケジュール表を見て予定を確認するようにし、見通しをもって学習に取り組めるようにする。</p>
	①	<p>(2) 仕事の分担をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・司会者 ・はじめのことば ・ゲーム係 ・歌係 ・ダンス係 ・おわりのことば 等 <p>(3) 自分のめあてを決める。</p> <p>(4) 単元のスケジュール表を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画 ・リハーサル ・準備 ・2年2組とのさくら集会 ・練習 ・ふり返り ・2年1組とのさくら集会 	

/ 6 つ く る	<p>3 「さくら集会」に向けて、準備や練習をする。</p> <p>① (1) 自己紹介の練習をする。</p> <p>① (2) プログラムやポスターを作る。ポスターを2年生の2クラスに持っていき、さくら集会の案内をする。</p> <p>② (3) 自己紹介やクラス紹介、ゲーム等をくり返し練習する。</p> <p>① (4) 模擬の集会の場（リハーサル）を設定し、プログラム通りに練習する。</p>	<p>○ 毎時間活動の様子が分かる写真やビデオを撮り、自分や友だちの姿をふり返りながら、次の目標を持って取り組めるようにする。</p> <p>○ プログラムやポスター作りでは、自分たちで作り進めることができるように、1学期に作ったものを提示する。</p> <p>○ 司会進行やその他セリフの原稿については、教師が個に応じて意図的に考える。</p> <p>○ 実際の集会にイメージを持つことができるように、プログラム通りに練習する。</p> <p>○ 相手意識を少しでももつことができるように、リハーサルでは保護者や校長先生に見に来てもらう。</p>
/ 6 ふ り 本 時 か	<p>① 4 2年2組と「さくら集会」をする。</p>	<p>○ 活動の場をさくら学級とし、普段と変わらない環境で行うことで、練習の成果を発揮しやすいようにする。</p> <p>○ できるだけ自分たちで進行できるように、個に応じた支援を工夫していく。</p>
/ 6 ふ り 本 時 か え	<p>5 2年2組との「さくら集会」をふり返り、練習をする。</p> <p>① (1) 写真等を見て、自分の姿をふり返る。</p> <p>① (2) 友だちとの話し合いを通して、自分の姿をふり返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よかったこと ・もう少し頑張ること <p>① (3) 2年1組とのさくら集会に向けて最後の練習をする。</p>	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p>交流・評価する活動</p> <p>2年2組との「さくら集会」でよかったことやもう少し頑張ることを見付けるために、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ビデオ映像や写真等の視覚的な教材を用いたふり返る場の設定を行う。ビデオ映像や写真は、一人一人の仕事ぶりが分かりやすい場面や課題が見えやすい場面を選んで用いる。 ○ ふり返る観点を明確にした話し合いを行う。ビデオ視聴前に観点を示し、自分や友だちの姿をふり返りやすくする。 </div>
① ② る	<p>① 6 2年1組と「さくら集会」をする。</p> <p>② 7 2年生とのさくら集会を新聞にまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>集会で何をするか考えたり、集会に向けて準備や練習をくり返したりと、みんなで協力してさくら集会をつくり上げることができました。</p> <p>2年2組との集会では、ダンスの説明のとき、緊張して小さい声になってしまいました。2年1組との集会に向けて、大きな声でいえるようにもう一度練習を頑張ったので、大勢の友だちの前でも最後まで大きな声でいうことができました。</p> </div>	<p>○ 集会を始める前に、練習の成果を発揮できるように、もう一度自分が頑張ることを一人一人おさえておくようにする。</p> <p>○ 一人一人絵や文章（単語）でまとめることができるように、個に応じた記事カードを準備する。</p> <p><記事の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動内容や自分の仕事 ・楽しかったことや頑張ったこと ・次にやってみたいこと 等 <p><記事カードの種類></p> <ul style="list-style-type: none"> ・行タイプ ・マス目タイプ

4 本時（12／16） 交流・評価する活動 さくら学級教室において

5 本時目標

- 2年 組とのさくら集会をビデオ映像や写真でふり返ったり友だちの発表を聞いた
りして、自分のよかったことやもう少し頑張ることを見つけることができる。
(知識・技能)

個別 の 目 標	A 児	○ ビデオや写真を見たり友だちの発表を聞いたりして、自分のよかったこと やもう少し頑張ることを見つけることができる。
	B 児	○ ビデオや写真を見たり友だちの発表を聞いたりして、自分のよかったこと やもう少し頑張ることを見つけることができる。
	C 児	○ ビデオや写真を見たり友だちの発表を聞いたりして、自分や友だちのよか ったことやもう少し頑張ることを見つけて発表することができる。
	D 児	○ ビデオや写真を見たり友だちの発表を聞いたりして、自分や友だちのよか ったことやもう少し頑張ることを見つけて発表することができる。
	E 児	○ 自分や友だちのよかったことやもう少し頑張ることを自分で見つけて積極 的に発表することができる。
	F 児	○ 自分や友だちのよかったことやもう少し頑張ることを自分で見つけて積極 的に発表することができる。

6 本時指導の考え方

これまでに子どもたちは、2年生との「さくら集会」に向けて自分たちで活動内容等を
計画し、準備や練習をくり返し行い、2年 組との集会本番と体験を積み重ねてきた。そ
の中で、自分の仕事を一生懸命行ったり、友だちの良い姿を見て自分も頑張ろうと努力し
たり、また、友だちと声をかけ合って協力しながら自分の力を高めてきている。

そこで本時指導にあたっては、2年 組との集会をふり返りながら、みんなでよかった
ことやもう少し頑張ることを見つけていきたい。話し合いで出てきた頑張ることを練習に
生かし、次の2年 組との集会につなげていきたい。

そのために、次のような手だてを考える。

手だて（1）自分や友だちの姿をふり返るための視覚的な教材を用いた場の設定

2年 組とのさくら集会をビデオ映像、写真等を用いて視覚的にふり返る場を設定す
る。ビデオ映像については、一人一人の仕事ぶりが分かる場面を選び、事前に編集して
おく。また、間延びしないように一人1分程度で編集し、くり返して見ることができ
ようにする。写真については、個に応じて、仕事ぶりが分かりやすいものや課題が見え
やすいものを選んで使用する。

また、「よかったこと」や「もう少し頑張ること」が視覚的により理解しやすいよう
に、①「よかったこと」「もう少し頑張ること」のマークを用いる、②個別対応の表を
活用する、③「よかったこと」は白字（白カード）、「もう少し頑張ること」は黄色字
（黄カード）で色分けする等、視覚的に板書を工夫する。

手だて（2）ふり返る観点を明確にした話し合い活動

自分や友だちの姿をふり返りやすくするために、ビデオ視聴前にふり返る観点を示す
ようにする。子どもたちから出てきた観点以外にも、必要に応じて教師が意図的に提示
するようにする。ふり返る観点をおさえた後、一人一人の仕事や活動ごとにビデオを止
めながら話し合い、一人一人の姿をふり返っていくようにする。

7 本時の展開

学習活動と内容	支 援						
<p>1 前時までの活動をふり返り、本時のめあてを確認する。</p> <p>(1) 前時までの活動をスケジュール表や写真でふり返る。</p> <p>(2) スケジュール表を見て、本時の活動内容を知り、本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>めあて みんなで「よかったこと」や「もう少し頑張ること」を見付けよう。</p> </div> <p>○ 本時の学習に見通しをもち、めあてを確認すること</p> <p>2 2年 組との「さくら集会」をふり返り、話し合う。</p> <p>(1) 仕事ぶり等をふり返る観点を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>・大きな声で ・顔をあげて ・気をつけて ・笑顔で ・セリフをおぼえて ・最後まで自分で 等</p> </div> <p>(2) 2年 組との「さくら集会」の様子をビデオ映像や写真でふり返る。</p> <p>(3) よかったことやもう少し頑張ることについて話し合う。</p>	<p>○ 前時までの活動をふり返るために、単元スケジュール表や活動が分かる写真を準備する。</p> <p>○ 子どもたちから出てきた観点以外にも、必要に応じて教師が意図的に提示するようにする。</p> <p>○ 2年 組とのさくら集会での仕事ぶりがふり返りやすいように、ビデオ映像を事前に編集する。また、課題が見えやすい写真を必要に応じて個別に準備する。</p>						
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">A・B児</th> <th style="width: 33%;">C・D児</th> <th style="width: 33%;">E・F児</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ビデオや写真を見たり友だちの発表を聞いたりして、自分のよかったことやもう少し頑張ることを見つけないこと</td> <td>○ビデオや写真を見たり友だちの発表を聞いたりして、自分や友だちのよかったことやもう少し頑張ることを見つけて発表すること</td> <td>○自分や友だちのよかったことやもう少し頑張ることを自分で見つけて積極的に発表すること</td> </tr> </tbody> </table>	A・B児	C・D児	E・F児	○ビデオや写真を見たり友だちの発表を聞いたりして、自分のよかったことやもう少し頑張ることを見つけないこと	○ビデオや写真を見たり友だちの発表を聞いたりして、自分や友だちのよかったことやもう少し頑張ることを見つけて発表すること	○自分や友だちのよかったことやもう少し頑張ることを自分で見つけて積極的に発表すること	<p>○ 「よかったこと」「もう少し頑張ること」について、視覚的により理解しやすいように、</p> <p>① 「よかったこと」「もう少し頑張ること」のマークを板書に用いる。</p> <p>② 顔写真を用いて、個別対応の表にまとめ、簡潔に板書する。</p> <p>③ 「よかったこと」は白字（白カード）で、「もう少し頑張ること」は黄色字（黄色カード）で板書する。</p>
A・B児	C・D児	E・F児					
○ビデオや写真を見たり友だちの発表を聞いたりして、自分のよかったことやもう少し頑張ることを見つけないこと	○ビデオや写真を見たり友だちの発表を聞いたりして、自分や友だちのよかったことやもう少し頑張ることを見つけて発表すること	○自分や友だちのよかったことやもう少し頑張ることを自分で見つけて積極的に発表すること					
<p>(4) もう少し頑張ることを踏まえて、自分の仕事を練習する。(代表で1～2人)</p> <p>※ (2)(3)は、一人一人の仕事や活動ごとにビデオを止めながら話し合う。</p> <p>3 次時の学習に見通しをもつ。</p> <p>(1) スケジュール表を見て、2年 組とのさくら集会に向けて練習することに見通しをもつ。</p> <p>○ 2年 組とのさくら集会に向けて練習することを確認すること</p>	<p>○ 視覚的にも次時への見通しがもてるようにするために、単元スケジュール表を提示する。</p>						